【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2001-119096(P2001-119096A)
【公開日】平成13年4月27日(2001.4.27)
【出願番号】特願平11-295260
【国際特許分類第７版】
　ＨＯ１Ｓ　5/028
【ＦＩ】
　ＨＯ１Ｓ　5/028

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月2日(2004.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
　一般的な半導体レーザー発振光に対して透明な誘電体としては、例えば後述するAl_2O_3（酸化アルミニウム）、TiO_2（酸化チタン）、Ta_2O_5（五酸化タンタル）およびSiO_2（酸化シリコン）が知られている。上記の発明において誘電体膜材料はこれらに限定されるものではなく、ＡｌおよびＯを含んで屈折率が1.58から1.64の範囲にある材料、ＴｉおよびＯを含んで屈折率が2.2から2.4の範囲にある材料、ＴａおよびＯを含んで屈折率が2.0から2.2の範囲にある材料、並びにＳｉおよびＯを含んで屈折率が1.44から1.46の範囲にある材料等を用いることもできる。